

安全機器の選定手順 (ISO 12100「機械類の安全性—設計のための一般原則」に準拠)

STEP 1

本質安全設計を行なう

まず、危険源を排除・隔離する、またはリスクを低減した設計を行ないます。

STEP 2

保護方を設置

どうしても人と機械が介在する部分に安全機器を設置します。

STEP 2-1 空間的隔離を行なう

STEP 2-2 時間的隔離を行なう

STEP 3

追加の保護方策を実施

非常停止ボタンなど安全性を向上させる追加保護方策を実施します。

非常停止装置を設置する

ワイヤー式

押ボタン式

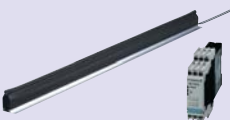


長いラインに最適!

P.397

P.403

身体の接触や挟まれのリスクを低減する



セーフティエッジシステム

P.377

STEP 4

使用上の注意を表示

回避しきれなかった残留リスクについて、警告ラベルや説明書への記載などを行ないます。

STEP 2-1 空間的隔離を行なう(危険源の隔離)

固定ガードにより、危険源を完全に隔離する。



STEP 2-2 時間的隔離を行なう(危険源の停止)

インタロック装置により安全防護を行なう。

Yes

インタロック付ガードを使用する

危険源はすぐに停止できますか?

- 飛散物がある危険源
- 高熱などの熱的危険源
- 騒音による危険源
- アクセス頻度が少ない

No

侵入

侵入・存在検知器を使用する

危険領域での人の侵入を検知しますか?
存在を検知しますか?

- ガードが施せない
- アクセス頻度が多い

存在

作業者の行動を制限する

両手操作により作業者を固定する

- インタロック付ガードも侵入・存在検知器の設置も不可能

Yes

危険領域に
入るのは身体
の一部のみですか？

No

<推奨機種>

